

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

埼玉県立川口高等学校 書道部

各種大会・書道展で高円宮杯や内閣総理大臣賞など数々の賞を受賞し、テレビ番組の「書道ガールズ・パフォーマンス甲子園」で全国優勝するなど、大活躍中の「埼玉県立川口高等学校書道部」を岡村市長が訪問。書道の楽しさや難しさなどをお聞きしました。



市長 みなさんこんにちは。早いもので、平成21年も10月に入り、秋も深まってきました。今月の市長のふれあい訪問は、「埼玉県立川口高等学校書道部」のみなさんです。どうぞよろしくお願ひいたします。はじめにお聞きしますが、部員は何人いるのですか。

部員 創部10年になりますが、3年生7人、1年生4人の合計11人で活動しています。

市長 みなさんいろいろな肩書きがついていますが、どのようなことをするのですか。

部員 書道部長をはじめ、展覧会、道具、パフォーマンス、清掃などの部長を3年生全員が担当し、役割を分担して活動しています。

例えば展覧会部長は、年30回ある全国レベルの大会に出品するため、すべての準備を担当します。道具部長は、部室にある紙や筆の管理を担当します。

市長 創部10年とお聞きしましたが、この10年間で、数々の賞



を受賞されていますね。これだけの成績を残せるということは、生徒さんの努力はもちろんですが、顧問の先生の指導の賜物だと思います。

顧問 ありがとうございます。勉強以外に朝から晩までこんなに書道に打ち込めるということはすばらしいことだと思いますし、生徒一人ひとりが力を存分に発揮できたからだと思います。

市長 どのくらい練習をしているのですか。

部員 毎日、授業前の朝5時から8時まで、放課後は夜7時まで、そして帰宅後も自主的に練習をしています。

市長 帰宅後は、どのような練習をしているのですか。

部員 古典の臨書を自宅で行っています。臨書とは、昔の人が書いた手本を見て写すことで、よく見ながら、この人は、どのような気持ちで書いたのかを想像



し、筆者になりきって書きます。また、文字の特徴を感じ取りながら練習しています。

市長 文化祭などで、書道パフォーマンスを披露したと聞いていますか。

部員 書道パフォーマンスとは、書道を表現する一つの方法で、屋外で大きな紙に、大きな筆で、音楽に合わせて、部員全員で一斉に書き始めます。見ている人に書道は楽しいんだと思ってもらえるよう頑張っています。

市長 たくさんの方に書道をみてもらうことが重要なんですね。また、高校時代に何か一つのこと集中できるということは、すばらしいことです。

部員 高校に入学して、このような環境で、書道に集中できるクラブに入部して良かったと思います。将来は書道家になるのが夢です。

市長 書道のどのようなところに魅力を感じますか。

部員 「かすれ」や「黒と白」で表現するところ、日々新しいことを学べるところに魅力を感じます。

市長 先生は、どのようなことに留意して、指導されているのですか。

顧問 生徒たちが、書道をどう感じて、感じたことをどのように表現できるか、技術面を教えることはもちろんですが、感じる心が育まれるような指導を常に心がけています。

市長 すばらしい成績を残されている書道部ですし、書道の文化を伝承していくという気持ちを持って、これからも頑張ってください。

書道部がますます発展することを願っています。今日はありがとうございました。